

第20回定期大会を開催

JR東海労結成20年間の闘いをふまえ しっかりと前を見て前進することを確認

7月28日、私たち関西地区分会は「大阪市立交流センターひがしよどがわ」において、第20回定期大会を開催し、向こう1年間の闘う方針を確立しました。

大会には、本部、地本、新幹線関西地本内の各分会から多くの来賓が参加してくれました。また、斉藤東二運分会書記長に対して、酒気帯びをデッチ上げた減給処分がかけられていますが、不当処分を撤回するための闘いを中心に担っている裁判プロジェクトからもかけつけてくれました。

8月11日、J R 東海労を結成してから20年目を迎えます。結成した時、葛西会長（当時は副社長）は「1年でぶつつぶす」と豪語しました。それ以降、熾烈な組織破壊攻撃がかけられて来ましたが、私たちJ R 東海労組合員は団結して反撃の闘いを展開してきました。20年経ったいま、私たちJ R 東海労はあたりまえの労働組合として存在しています。職場においては「おかしいことはおかしい」と言えるあたりまえの労働運動を行っています。

大会では、結成20年間の闘いをふまえ、そしてしっかりと前を見て前進していくことを確認しました。職場においては、あたりまえの労働運動を実践し、組織拡大を実現していくことも確認しました。

【来賓】（お忙しいなか参加して頂きました来賓の方々です）

（本部）藤廣副委員長、船出副委員長、上杉執行委員

（地本）小林委員長、山口執行委員、高田執行委員、原野執行委員

（分会）板東修繕分会長、森永仕業検査分会書記長、山本交番検査分会副分会長、中塩路

台車検査分会書記長、鈴木名古屋車両所分会副分会長、浦谷大二運分会書記長

（報復処分撤回裁判プロジェクト）石倭氏、徳宿新幹線地本副委員長

【2011年度分会執行体制】（2010年度と同じ執行体制です）

（分会長）榎木 邦二 （副分会長）瀧 眞司 （書記長）上田 謙二

（会計監査）和田 充弘